

# 「エンディング」に関するアンケート報告

2017年4月 暮らし見直し委員会（家計簿活動）

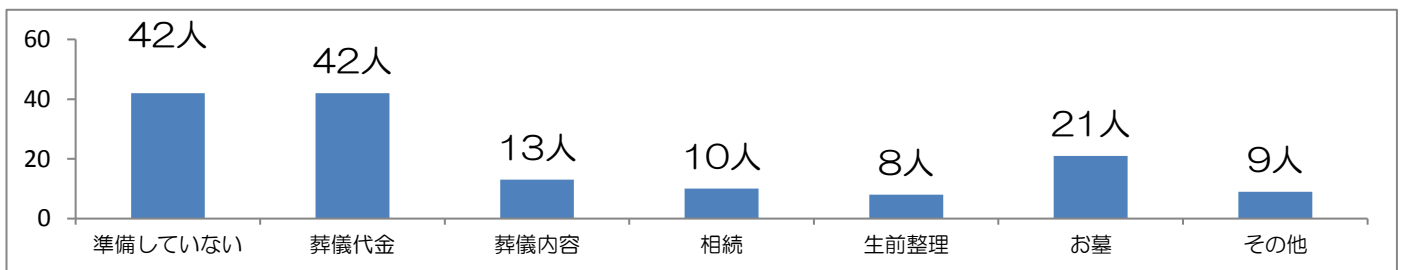
2017年1月に行いました「エンディングに関するアンケート」に106名の方より回答をいただきました。ありがとうございました。以下、結果をまとめましたのでご覧ください。

## 1. 記入者の方の年代

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
0人	3人	16人	32人	31人	22人	104人

※未記入の方・・・2人

## 2. 自分の「エンディング」について準備していることはありますか？（複数でも可）



### 【その他】

葬儀場を決めています。海洋葬。互助会、少額保険。写真。斎場。家の中の整理費用。

## 3. 「葬儀」についてお書きください。（自分のこと・家族のことなど）

- ・夫も私も簡単な安い葬儀（あるいは、しないか家族葬）でいいと思っているけれども、例えば、夫がそういう状況になったなら、夫の親戚の手前、そうもいかないだろうから、私よりも親兄弟に「自分はこういう葬式をする」とっておくしかないんじゃないか…という話をしたことはあります。とにかく無駄なお金だという意見で二人とも一致しています。
- ・自分が死んだ時は家族が困らないように準備したいと思い、互助会に入会しました。エンディングノートに、葬儀は不要で直葬してもらおうよう書いています。
- ・無宗教で行いたい気持ちがあるが、家族との合意はない。その時に自分はいないから。残った家族がそれにとらわれ過ぎても…と思うので。とても曖昧にしか考えていないことがこのアンケートでわかった。

- 実父は亡くなる前から納骨堂を購入し、葬儀場や遺影など、残される母のためにいろいろと準備していました。とても助かりました。義母は突然亡くなり、残された義父はどうしていいのかよくわからず、子ども達でいろいろと葬儀を進めました。宗派などよくわからず、親戚に聞いたり隣組に相談したり。生前より話をしておくべきでしたが、田舎なので生前には「(葬儀の話は)縁起が悪い」と言われ、話ができませんでした。
- まだ子育て中なので自分の死後のことを考える余裕はありませんが、万が一のために育英年金付のこども保険に入って、子ども達に「お金がないから学校に行けない」という思いをさせないようにしています。何もなければお守りで済むのですが、もし死んでしまったら絶対に心残り化けて出てきそうです(笑)。
- なるべく簡単に、けれど個人を偲んで。自宅葬はできれば一番だと思っていますが、それには家族と近い友人、兄弟姉妹くらいは集ってほしいなど。



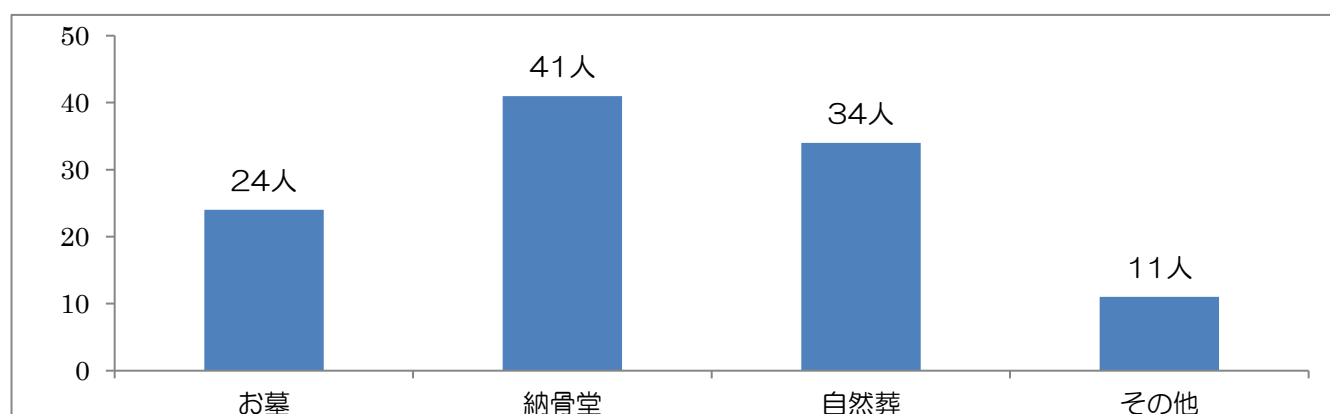
- 家族葬で花に囲まれての葬儀が良いと思っています。戒名はいらないと思っています。自分の名前で呼ばれないとわからないと思います(死後に)。線香もいりません。
- 亡夫の葬儀は一般的に執り行いました。皆さんに送っていただき良かったと思います。2年前の実母の時は、子ども達は家族葬を考えていましたが、父の意向で盛大に送ってあげたいとのことで、立派な式になりました。父本人は、自分の時は盛大でなくて良いが普通に送ってほしいと言っています。(家族葬は寂しいそうです。)私自身は直葬でいいと思っています。
- 昨年7月に夫が旅立ちました。生前、夫とは葬儀について日常、会話をしていましたので、家族葬としました。子ども達の友達、勤務先からも弔電をいただき、会葬は控えてくださりました。私の友達は本当に親しい人だけ、10人くらいお参りいただきました。近所は翌日、家にお参りに来ていただきました。今回思ったことは、家族葬は後で自宅へのお参りが多く大変だった。経費は変わりませんので、遠い所でもお付き合いしている親戚や夫の友達には知らせて、一緒にお参りしていただいた方が良かったと思います。
- 昨年2月に義母が亡くなり、エフセに登録していたのでスムーズに葬儀はできた。事前にパンフレットをもらっており、わからないところは担当者にいろいろ聞いていたのは良かった。私の父の時は仮通夜時にパンフレットをもらい、葬儀社の人に説明を受けながら、東京にいる弟に電話相談しながら決めていった。時間はかかるし疲れるし。通夜前日に精進明けの場所まで手配できた。シュミレーションできておいて良かった。

- 付き合いで葬儀に参列するのも、されるのも嫌ですね。生まれる時はどんなに孤独な人でも必ず母親がいますね。でも死ぬ時はどんなにお金持ちでも偉い人でも一人です。その一人という不安を払ってくれる存在が、神であり仏だと思えます。だから葬儀は送る側の気持ちで充分。金額や型にとらわれないで。
- 私達夫婦はキリスト教です。3人の子供達は信仰していませんが、でも私達二人は葬儀は通っている教会でキリスト教式で、子供達も了承しています。
- 華美にしたくないと家族葬にする気持ちもわかりますが、後日知って自宅にお別れを個別に行くことが大変です。残された人のことを考えると、小さくても普通に葬儀しなくてはと思います。
- できるだけシンプルに、付き合い上での参加は望みません。本当に悲しんでいる身近な人だけでやってほしい。お坊さんもお経も必要ありません。死んだ人にお金は使わないで、残された人のために使ってほしい。何かしてあげたいと思うなら、生きている時に使って喜ばせてほしい。
- 葬儀と言うか葬儀社について、実家で一人暮らしをしている父が去年、死にかけの病気をしました。回復した後話をしていると、葬儀社に毎月お金を払っているとのこと。びっくりして「そんなことはちゃんと教えてくれてないと、他の葬儀社にたのむところだったよ！」と。でも、もうこの際それを解約することになり、入院している父に代わり私が手続きをしました。いろいろ言われましたが結局返金してもらえることになりましたが、実家を片付けていたらその葬儀社の契約書が2通出てきました。入院中の父に聞くと、「おー、そういえば2口分入ってた！」と。またまた葬儀社に電話して「うちは2口分入っているので2口分の返金をお願いします！」と言うと、「あーそうですね。じゃあ2口分返金します」と言われました。もしも先に家を処分して契約書が無くて、もし父が亡くなっていたら、わからないままになっていたのかもしれない。酷い！！私は自分の葬儀はお坊さんも呼ばなくていいし、散骨でいいです。
- 昨年母を見送りました。父と母はクリスチャンだったので、父は教会で、母は教会から遠方に越したので牧師に来ていただいて、自宅で親族や親しい方々だけで家族葬を行いました。それぞれ二人が望んだような葬儀を行うことができ、娘としていろいろな方々に感謝でいっぱいでした。私もそんな式で送られたいと願っています。
- 10代で祖父母の葬儀に参加しました。ほぼ他人事な感じでした。20代では葬儀のことなどあまり考えていませんでした。30歳の時、突然母の葬儀を取り仕切ることになりました。あまりに急なことで、父は倒れてしまい、妹はただただ泣くばかり…。長女である私はあらゆる手配を一人でこなしました。無我夢中で、ただただ無事に終わらせようと必死だったので、あまり記憶もありません。たくさんの方に支えていただいたことを覚えています。人は必ずいつか終わりを迎えます。葬儀（人生の終わり方）について、生きていうちに考えておく必要があると思います。

- 親戚の葬儀に行つてつくづく思うことは、会社関係の人の多いこと。本人も家族も知らないだろうな、ほんのちょっとの糸みたいな細い繋がりで行ってきているのだろうな、来ている人の何人が故人や遺族を本当に知っているのだろうな、ということです。自分が死んだ時は、本当に私を知っている人だけに来てほしいということです。あるいはどこかで思ってくれるだけで良い。だから、家族葬で十分です。
- 子どもに「大抵、病院で死ぬだろうから、通夜も葬儀もいらない。病院から直接お墓でいいよ」と言ったら反対されてしまいました。私は交友関係が少ないので、葬儀にかけるお金がもったいないと思うのですが…。私の前におそらく母の葬儀をすることになると思うので、そのときにまたしっかり考えたいと思います。
- とりあえず互助会に入って積み立てています。葬儀で使われなければ子ども達の結婚時に使おうと思います。付き合いもそれほど多くないので小規模で良いと思っています。まだあまり深く考えていない現状です。
- 葬式は一応の区切りなのでした方がいいと思いますが、本当に近い身内だけの家族葬でいいと思います。当人とつながりの深かった人が最後のお別れをする儀式だと思うので、小じんまりとしたものでいいと思います。



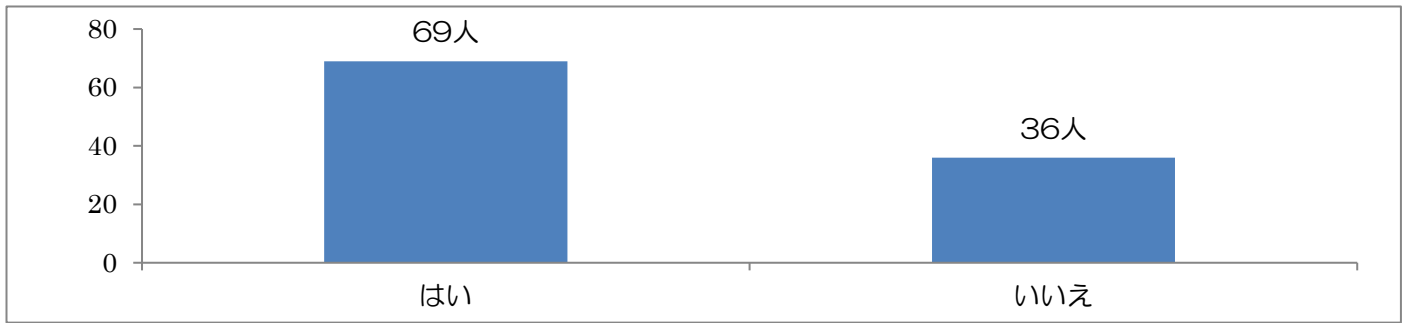
#### 4. 自分の埋葬方法をどのようにしたいですか？



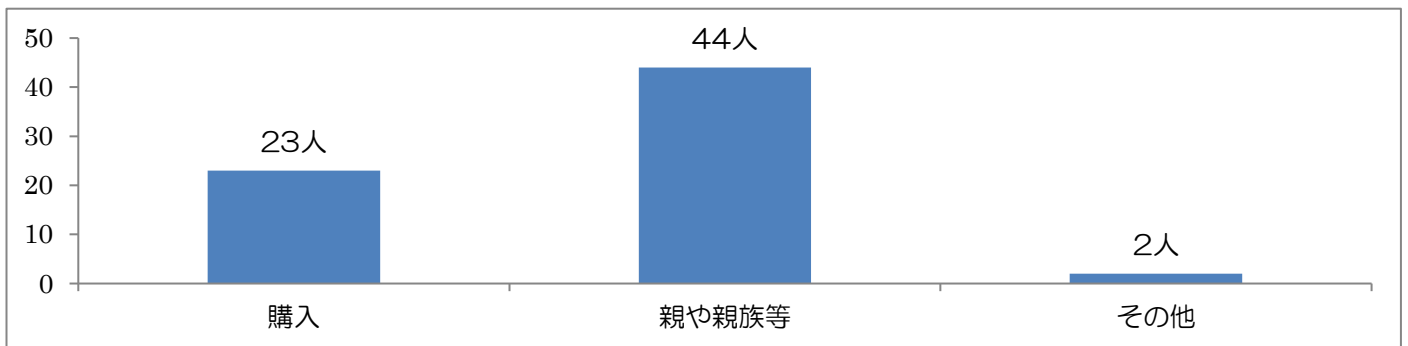
##### 【その他】

残された人のやりやすい方法で。したいという希望なし。わからない。考えたことがない。お墓は無いのでそれ以外で。今はまだ具体的には考えていません。

## 5. すでに自分の「お墓・納骨堂」がありますか？



## 6. 「お墓・納骨堂」は購入しましたか？それとも親や親族等の「お墓・納骨堂」ですか？



## 7. 「お墓・納骨堂」についてどのように考えていますか？

- 夫婦二人のどちらかが死去した場合、納骨堂を購入したいと思います。お墓は掃除等が大変と聞きます。納骨堂を購入すると寺の出事が多いと聞いていますが、人とのコミュニケーションと思えばいいのでは。
- 以前から、火葬後に骨の一部を埋葬することに違和感がありました。火葬後は全てそのまま火葬場に残し、土に戻してもらいたいと思っています。
- 生きている人が都合のいいようにしてもらって OK です。なので、なるべく来やすい場所、行きたい場所に置いてもらって、先祖がいて今の私があると手を合わせる場所であればと思います。
- 散骨等がいろいろ取りざたされていますが、私としては残された人々の心の拠り所として、きちんとした墓所があった方が良くと思います。命日に縁故のあった人達が集うのは、とても良いことだと思っています。そのためには形があってこそだと思うのですが。

- お墓、納骨堂共に継承していくことの心配がありますが、お墓の方が終わり方が大変なのかな？と思います。母が納骨堂に入っていますが、線香を炊けず、供物も置けず、ただ手を合わせるだけで、いつも寂しい気持ちでお参りしています。主人はお墓で、暑い時や寒い時のお参りは大変ですが、気持ちを込めて掃除して、線香、お花をあげてお参りできることが気持ちが良いです。
- 自分がどこにいたい(?)のか…から考えていこうかと思っています。例えば、場所はどこでも良いから由緒あるお寺とか…。
- あまり墓参りをしないので申し訳ないと思っている。夫も、思っていれば形はどうでも良いと考える人で、実際に墓に参ったりしなくても…という人。自分達の墓も持たないが、もし急にどちらかが亡くなったら、やはり世間の流れに乗せられてしまうのかもしれない。自分のためには立派な墓とかはいらないが。



- 人間は多くの命(動植物)を頂いて生きています。その体を自然に還元して、動植物の栄養となるのが自然の摂理のような気がします。人間だけが尊い、特別、だからお墓で大切に守る。そんな考えは私にはありません。私の生きた「証」は子ども達の体の中にDNAとして脈々と受け継がれていくので、それで充分。私にとってのお墓は、親類知人が生活の中で、あの人はこんな料理が好きだったとか、変な趣味があったねとかの、思い出の中にあるような気がします。だから散骨が一番の希望。海で魚の餌になるのもいいと思いますが、海が汚れると言われ、それなら山の中かな…。
- 実家は上の方にある大きなお墓なのですが、年をとると階段を登るのも大変ですし、掃除も年に何回も行かないといけませんので、納骨堂の方がいいのかなと思います。
- 子どもが遠方に居住していますので、納骨堂の方が良かったと思っています(墓地購入済)。当時は子どもに負担を掛けぬようにと準備しましたが、お墓を作るのが早すぎたようです。
- お墓は購入しましたが、跡を継ぐ人はいません。娘二人は嫁いでいるので、自然消滅かと不安です。
- 夫は長男で本家ですが、子どもは娘二人でそれぞれ嫁ぎましたので、私達が亡くなると娘に頼み永代供養です。そのためのお金は準備しておかないと思っています。
- 古い家系ですのでお墓と納骨堂の両方がありました。3年程前、お墓を供養して処分し、納骨堂の古いお骨は寺で合祀して、納骨堂のみにしました。娘だけですので跡を継ぐ者がいないので、残った人数の場所を取っておき、私達の代で片付けをしたつもりです。

- お墓などは自分のためでなく、残された人々のためのものだと思う。お墓に行けば会える、など…。
- 実家の父が生前お墓を立て、そこに父のみ入っております。母と一緒にお墓掃除に年三回行っていましたが、その母も倒れて施設に入っております。弟家族がその後見るべきなのですが、弟も若年性アルツハイマーにかかり、その世話で弟のお嫁さんも大変な状態です。主人（四男）の方のお墓は納骨堂なので、なにかとお世話がしやすく、助かっております。そのような体験を踏まえ、このたび隣に新しい納骨堂ができたのを機に、私達だけの納骨堂を購入しました。子ども達娘三人はそれぞれ結婚しましたので、私達二人が入るだけになるのでしょうか…。
- 現在、主人の母と同居していますが、この流れだと普通に主人の先祖代々の納骨堂に入ることになるのでしょうか、姑と主人しか知らない中に入るのはどうなのかと考え中です。
- 私の所は近くにお墓があり毎月一回参拝していますが、今後子どもが離れていった時はお墓を守る人がなかなか来られないので、考えさせられるところがあります。でも納骨堂となると維持費もかかるので考えさせられます。
- どちらか選べと言われれば、お墓より納骨堂かなあ…と思いますが、義母が納骨堂にかかわる行事 etc. に苦労しているのを見ると、お墓も納骨堂もなくていい！！と思ってしまいます。家族の間で思い出してもらえれば……それでいい。
- お墓はいらない。残して子どもに面倒をかけたくない。
- 子どもが転勤族で都会のマンションを購入しているため、地元での納骨堂・お墓は考えていません。空港側等、交通の便の良い納骨堂を考えていかなければならないかも？と考えます。  
墓に固執せず、ペンダントなどの骨を加工して作ったもので、手を合わせて思い出してもらったら充分だと考えています。（樹木葬、散骨も結構金額かかりますし。）
- 代々続いていくもので、親が購入したが子どもがいないので、甥に迷惑をかけたくない。
- 自分の実家にも嫁ぎ先にも納骨堂があり、小さい頃から盆正月は必ず家族で納骨堂にお参りに行っていました。なので子どもの頃から、亡くなったら家族も自分も納骨堂に入るんだと思っていました。改めて考えると、納骨堂があるということありがたいことだなあと思いました。
- 夫の両親の葬儀の時に墓を用意したので、そこに入れば良いと考えている。



**8. 最近、テレビやインターネット上で話題になっている「お坊さんの派遣便」についてどのように考えていますか？**

知らない・・・17人

- 門徒を継続できない人がいるなら、これも仕方がないのかと思う。
- 昔は家に仏壇があるのが普通だったけれど、核家族化して家に仏壇がないから、お寺（他の宗教も）との付き合いがないので出てきた商売だと思うが、ちょっと考えられない。
- お寺との関係は年一回お盆に棚経に来ていただく年忌法要だけですが、庫裸建築費用、寄付等、いろいろと出費があつたりします。法要の時だけ等で、お布施も定額で決まっていたりするならば、派遣便もいいのではと思います。供養することには変わりないので。
- 時代の流れで、それも一つの方法かと思う。全く放ったらかしにするよりは良いと思う。
- 我が家は仏様がいますのでお寺が決まっていますが、初めての葬儀でお寺を探す場合は大変だろうと思いますので、「お坊さんの派遣便」を利用するのは仕方ないと思います。

**9. 今回のアンケートを通じて思う事、考えた事がありましたらお書きください。**

- 最近母の葬儀をしました。田舎ですので、親族、友人、村内の方々等、それなりの参列をいただきました。享年97歳という年でしたので、当初は葬儀も小さくしようかと話していたのですが、生花等たくさん頂き、それなりの場を借りました。斎場の行き届いた配慮で、心穏やかに母を送ることができました。ちょうど時間をずらして家族葬ができていました。自分達は葬儀にお金をかけることはないねと常々話していましたが、初めて家族葬を見て、とても寂しく感じました。私は親しい方々には連絡し、皆さんに送ってほしいなと思っています。
- お墓や葬儀については、生前に話し合っておくべきだと思いますが、残された家族（葬儀をする人）の負担も考えて、希望を伝えておくことが大事だと思います。
- 私の夫の実家は弟が後を継いでいるので、実家のお墓には入れないと主人が言っているのですが、お墓は「一子相伝」みたいなものなのではないでしょうか？私の両親は生前、遠方にある先祖のお墓を近くのお寺の納骨堂に移しました。そこは父と母の二つの骨壺しか入ってなくてまだ余裕があるのですが、他家に嫁いだ私（達）は入ることはできないのでしょうか？納骨堂の管理は独身の妹がしています。





- 先日、子どもに恵まれなかった伯父・伯母夫妻の伯母の方の葬儀に出ましたが、子どもがいなくて兄弟姉妹もいないというのが、とても大変なことだと痛感しました。今回は姪である私や私の従兄弟姉妹で協力していろいろ動きましたが、やはり世の中で家族葬が流行するのわかる気がします。伯父が私達を幼い頃より可愛がってくれていたもので、私達も恩返して協力できましたが、疎外的な関係では孤独な葬儀になっていたかもしれません。独身の弟のことが心配になってきました。
- 今まで、葬儀の考え方が「人生最後の催しもの」との考えから盛大に送っていましたが、今は残された者への思いから、質素で本当に別れをしたい人のみで、本人の好きな葬儀方法を生前に計画して見送ってもらった方がベストだと思います。自分の親世代には上記のようなことは習慣から無理だと思しますので、自分の時は本人の希望するやり方を、子どもに折に触れて話しています。
- 同居の義母が昨年 2 回も入院し、身体も弱ってきたので、覚悟を決めてそろそろ本格的に考えなければ…とは思っていますが、なかなか進みません。「いざ」という時にバタバタになるのは間違いないと思いますが、元気な時に主人に話すのも怒られそうで、私の中でモヤモヤしています（きっと私が手続きや支払いや何でもすることになるだろうに）。義母は家族葬で良いとかあそこ（近くの葬儀社）で良いとか言いますが、主人がそれで納得するかどうかは不明です。嫁の立場は辛いです。葬儀費用を口座ではなく、生前に現金で受け取れるのが一番早いと思っています。このようなことを吐き出すところがあり、感謝しています。ありがとうございました。
- 葬儀やお墓は残された人のためのものであって、負担になるようなものではないと思います。それぞれの気持ちが落ち着く形で行えばいいのではないかと。
- 夫が亡くなって半年、やっと落ち着き、通常の生活に戻った。二人での生活だったら葬儀は近所、友達、親戚にも知らせてお別れをするほうが良い。一人だったら子どもに任せ、家族葬で良いと思う。特に喪中のはがきを出してからお参りが多く、お供えや御仏前が送ってきた。やはり私達の交友関係が多かったのかなー。子ども達は「お父さん皆から好かれていたんだなー」と言っていました。
- 以前に比べたら私達とお寺さん等のお付き合いが本当に少なくなってきたので、この先 10 年、20 年と経つとどうなっていくのか、想像が付きません。〇〇家の墓とかいう累代墓など、減ってしまいましたね。葬儀にしてもお墓にしても、私が子どもの頃に常識的にこんなものと思っていたものが、ずいぶん変化してきて…。高齢化と少子化でこれらに対する考え方が変わってきたのでしょうか。「子どもに負担を掛けない」、これが生きている間も亡くなってからも、そうありたいというのが一番の希望です。皆さんのいろいろな意見がとても楽しみです。



- 毎日何となく生活していて、最近気付いたことがあります。多くの命を頂いて生きている自分、それ

なら頂いた命の分まで有意義に充実した生き方をしなければいけないのでは…と。大きな夢でなくても、目の前の小さな夢でも、精一杯努力しなければ頂いた生命に申し訳ないような気がします。

- 最近、断捨離とかエンディング、終活とかよく耳にします。何でも早めに計画というのは大事なことだと思っています。ついでに保険も見直すきっかけにもなりました。いつ何があっても良いように準備しておきたいものです。
- 「お寺は葬式のみする所ではない。」と言われ、お墓を建立した時にお寺の門下となりましたが、毎年維持費などいろいろ連絡があり、如何なものかと思うこともあります。
- 法要をきちんとする（したいと思う）人は行えば良いし、やるやらないは人それぞれなので、自分の考えだけが正しいと押し付けたり、やらないことを批難されたくない。私は生きている時に一生懸命孝行したのでそれでいいと思っているし、その方が大切と考えています。
- 弟には子どもがいないので、両親と弟のお嫁さん（一人っ子）のご両親に関しては、いずれ無縁仏になるのかなあ…。我が家には子どもが3人いるけど、それぞれの生活が待っているだろうから、難しいですね。
- エンディングノートが途中のままになっていました。ずっと家事・仕事優先で後回しにしていたのですが、いい機会なので期限を決めて完成させたいと思いました。
- 私達の親世代の男の人達は自分で何でもしようとし、年をとって正しい判断ができにくくなくても自分の考えを押し通す人が多いようで、特に先祖、お墓、お寺などのことには一切聞く耳を持たなく、友人達と困っています（母親が残っている人は割りと楽なようです）。50を過ぎたので、葬儀寺なく娘達が一番手がかからないように、早めに考えておこうと思いました。今回、親のことでちょうど大変な思いをしている最中にこんなアンケートがあるということは、他の方々も大変な思いをすることが多いからでしょう。私も頑張ろう！と奮起しました！
- 避けては通れない…主人とも話し合いたい。
- 神仏に対する気持ちは持っているつもりですが、少子化もあり、忙しい子ども達に大変な思いをさせるより、各々の場所で私達を偲んでくれたら、思い出してくれたらと思います。亡くなっていく自分が神仏に生きている間にしっかり参り、詣でていれば、この世もあの世も良い所だと思いたいです。主人と話し合ったら、合同墓地なんかも誰かが参り、祈ってくれるのもいいねと。
- 子どもの頃は毎年墓参りにも行っていましたが、父の転勤についてまわり数年に一度しかできなくなると、疎遠になりました。私の子ども達も県外に住んでいます。私が墓や納骨堂を持ったところで、数年に一度のお参りしかできないでしょう。気持ちも、その存在意義もなくなるでしょう。昔と違って世界中に人が移動し、好きな場所に住める現代。将来、一つ所に縛られる必要はないのではないのでしょうか。遺族に故人を思う遺品が写真でもあれば良いのだと思います。不遜でしょうか。
- 家族の形態や信仰もいろいろで、時代の変化もあり、様々です。私の母は、離婚して30年くらい音

信不通だった父の仏壇も見えています。母の死後は、私にはもう見なくて良いよとも言いますが、どうなのでしょう。子どもは娘ばかりで、皆嫁いでいます。

- そろそろ考えた方がいいのでしょうか？ でも現実には日々の生活でいっぱいです。
- 身近で親のことを考える時期なので、親には写真の準備等、元気なうちに話題にしています。
- 元気なうちに希望を話し合っておく方が良いですね。見送る側の立場とかもあるでしょうし。家族のみの見送りでも 40 万近くかかりました。業者さんとも遠慮なく話し合った方がいいです。アドバイスを聞きつつ、不要なものは不要と。



- 人間関係が希薄になっている時代だし、義理でお葬式に行ったり香典を包んだりしているので、仕事を辞めたらそういう情報も少なくなるだろうと思うので、本当につながるのある深かった人のみ葬式には参加しようと思います。また、墓とかがあることで家族のつながりがあると思いますが、残された人にとってはどうなのかなとも思います。
- 教育費もまだ全部終わっていないので、自分自身の葬儀代は考えていない。でも、いつ亡くなるかはわからないので、考えて準備しなくてはと思う。
- 皆さんどうされているのか知りたいので、アンケートの結果が知りたいです。  
葬儀後の法要のことですが、義兄が亡くなって一年になります。葬儀、四十九日は兄弟姉妹に案内がありました。初盆、一周忌は来てくださった方にお礼、お返しという形をとっていました。私達の時もそうすることが、残った伴侶、子ども達も楽なのかな~とっております。
- 何があるかわからない時代なので、夫が通帳などの大事な物を、メモしてわかるようにしたいと話しています。生前整理も娘からするように言われて 1~2 年過ぎました。まだフルタイムで働いて孫の世話もしているのでできませんが、少しずつでも考えて実行したいと考えています。
- なぜ？今？と不思議に感じました。主人が 1 月 30 日に自宅で夜寝て、朝、変？と思い救急車で病院へ行き、心臓が止まっていますと言われ、葬儀となりました。慌ただしく時が流れ、何事もたんと進んでいます。仏壇もあり納骨堂もあり、改めて考えることはないのですが、人が生きていくことも大変ですが、死後も大変です。例えば、残された者がする役所の手続きなど。

- 主人は旧家で代々の大きなお墓がありますし長男なのですが、とても自由な考えをする人で、自然葬で構わないしその方がいいと言っています。さすがにちょっと親族の手前、それは私としてはできません。でも息子の代になったら、誰がそのお墓を守るのかなと思います。孫は女の子で一人だけです。
- 私の友達から、年賀状が4、5年来ていません。とても心配しています。母に話したら連絡してみればと言うのですが、彼女の実家の電話番号も旦那の名前も電話番号も忘れてしまいました。私達も60歳になったので、ガンで亡くなったり、心疾患、脳疾患で入院する人がちらちらと出ています。子どもに「私が死んだら年賀状の住所録を見て、挨拶状だけは確実に出すように」と頼んでいます。いつも来ていた人が来なくなるのは、とても心配です。
- 写真、手紙、衣類等、終活しなくては…と思います。そろそろ始めましょうか。

たくさんの貴重な声をありがとうございました。まだまだたくさんの声をいただいていたが、全部掲載することができず、申しわけありません。

今回のアンケートが「エンディング」に関して考える「きっかけ」になれば幸いです。



ご協力ありがとうございました。